

岩手県感染症週報

平成17年第6週（2月7日～2月13日）

岩手県結核 感染症情報センター

第6週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症
- 4 類感染症

患者発生 の報告はありませ
んでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

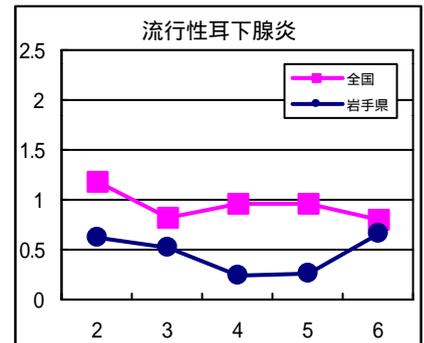
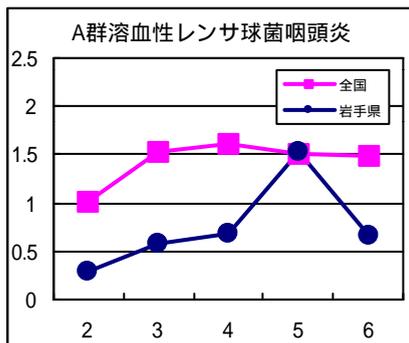
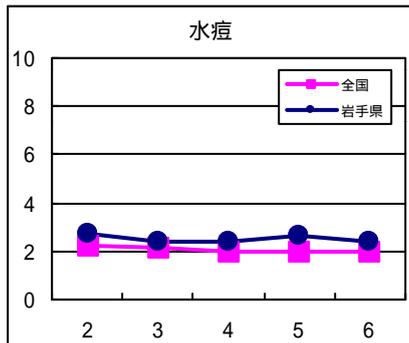
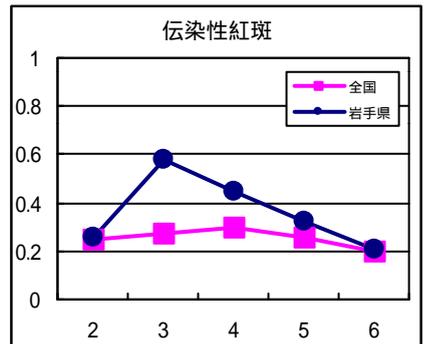
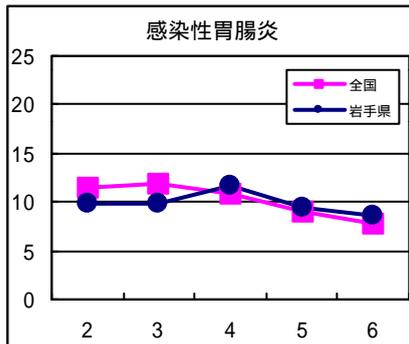
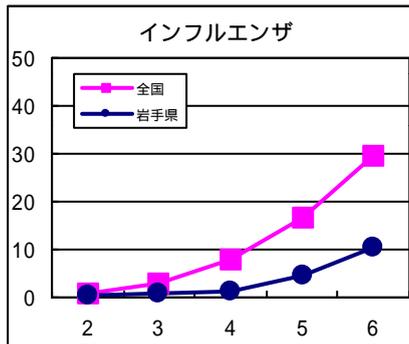
患者発生 の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは各地区で患者数がさらに大幅に増加しました。特に、前週より患者数の多かった水沢地区で、定点当たり患者数が31.4人となり、県内地区では今シーズン初めて警報値（同患者数30.0人）を超えました。また宮古地区でも患者数が急激に増加し、定点当たり患者数が11.4人となり、注意報値（同患者数10.0人）を超えました。また、県内では集団感染により、2/17までに13校で学級閉鎖などの措置がとられており、今後さらに患者の増加が予想されますので、嚴重な注意が必要です。特に高齢者や慢性疾患を持っている人や、睡眠不足などで疲れている人は人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ・溶レン菌咽頭炎は前週患者数が多かった北上地区で減少しました。
- ・感染性胃腸炎は、この週には前週より患者数がやや減少していますが花巻、水沢、北上地区では患者数が多い状態が続いています。
- ・水痘は、前週は患者数が多かった花巻地区で減少しましたが、一関地区で患者数が増加しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		2	3	4	5	6		
インフルエンザ	岩手県	0.44	0.66	1.45	4.52	10.39	↗	
	全国	0.7	2.81	7.94	16.46	29.73		
咽頭結膜熱	岩手県	0.32	0.11	0.11	0.11	0.05	→	
	全国	0.22	0.2	0.19	0.21	0.18		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.29	0.58	0.68	1.53	0.66	↘	
	全国	1.01	1.52	1.61	1.5	1.49		
感染性胃腸炎	岩手県	9.84	9.87	11.61	9.37	8.55	→	
	全国	11.54	11.87	10.8	9.06	7.72		
水痘	岩手県	2.74	2.42	2.39	2.66	2.39	→	
	全国	2.21	2.13	1.97	1.95	1.98		
手足口病	岩手県	0.05	0.26	0.11	0.13	0.13	→	
	全国	0.17	0.23	0.25	0.19	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.26	0.58	0.45	0.32	0.21	→	
	全国	0.25	0.27	0.3	0.26	0.2		
突発性発疹	岩手県	0.42	0.5	0.37	0.39	0.84	→	
	全国	0.71	0.73	0.68	0.62	0.59		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.18	0.11	0.13	0.13	0.03	→	
	全国	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.61	0.53	0.24	0.26	0.66	→	
	全国	1.19	0.83	0.96	0.96	0.8		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.08	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.83	0.75	0.33	1	0.25	↘	
	全国	0.68	0.62	0.62	0.63	0.62		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	1	0	0	0	0	→	
	全国	341	335	0	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.03	0		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.15	0	0.2	0.1	→	
	全国	0.18	0.2	0.21	0.23	0.19		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
分類	疾病名	(週)					累計	6	累計
		2	3	4	5	6			
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	8
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	53
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	2
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	1	3	55
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	11	76
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	8
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	5	35
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	0	1	1	11
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	7	112
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	5
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	20
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	1	0	1	6	54
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	6
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	8
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	7
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	17
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

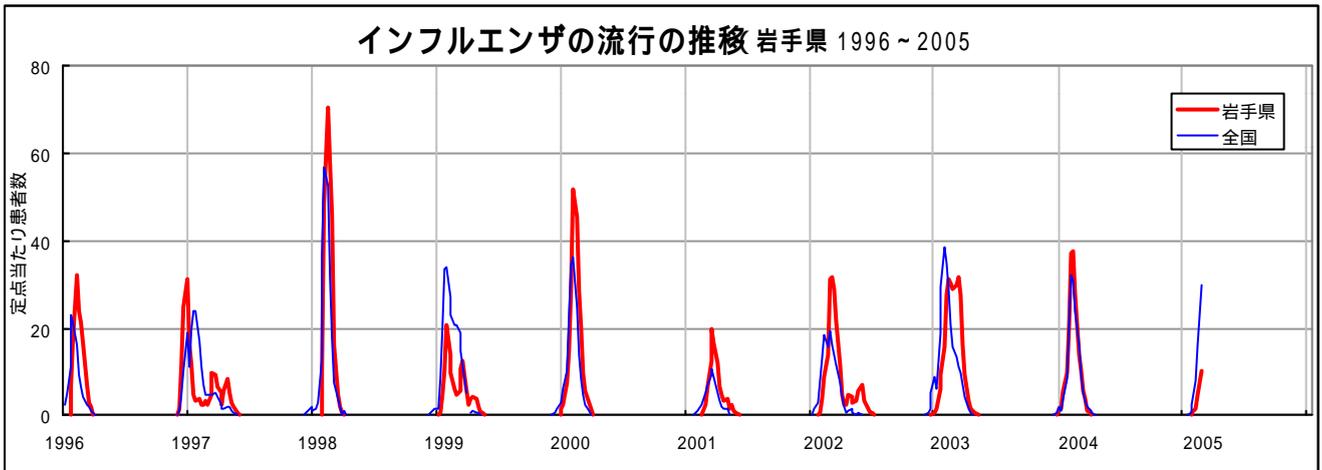
今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは各地で患者数が大きく増加し、本格的な流行期に入ったものと思われます。今シーズンは昨シーズンよりもおおよそ3週遅れの流行開始です。県環境保健研究センターの病原体検査では、Aソ連型、A香港型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが分離されています。

学級閉鎖などの措置施設数の累計（2月17日まで）

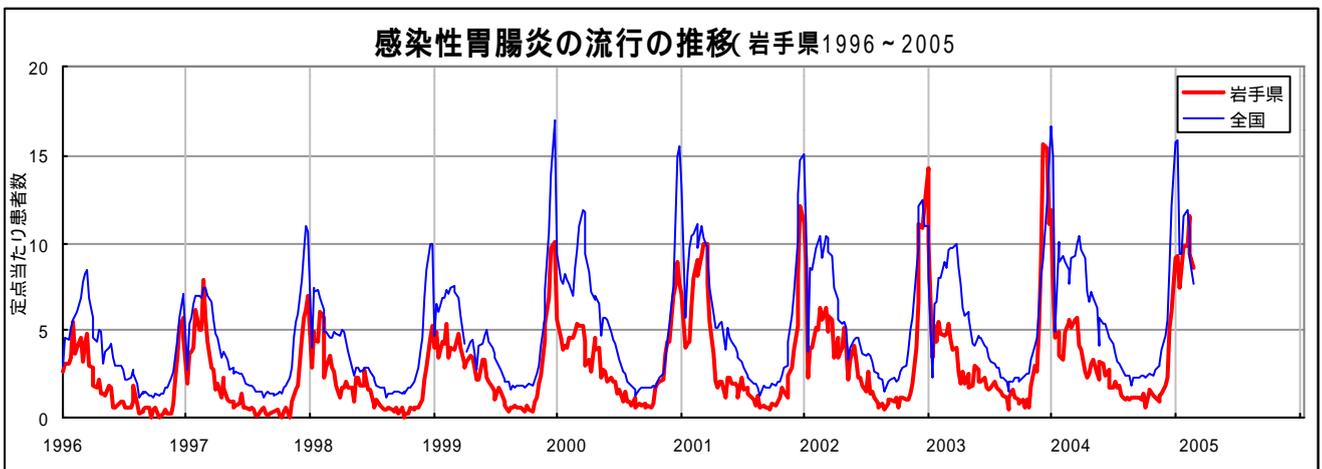
	岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
施設数	13	5	0	0	2	2	1	0	2	0	1



ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、感染症発生動向調査によると、今冬の患者発生状況はほぼ例年並みとなっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、症状が消失した後もウイルスが3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、特に二次感染に注意が必要です。また、患者の吐物にも多量のウイルスが含まれているので、二次感染を防ぐため、汚物の処理時には100倍程度に薄めた塩素系漂白剤で消毒するなどの処置が必要であり、感染の防止にはなによりも十分な手洗いが大切です。



病原体検出情報

- ・インフルエンザ患者の咽頭拭い液からAソ連型インフルエンザウイルスを1例、A香港型インフルエンザウイルスを3例、B型インフルエンザウイルスを4例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便からA群ロタウイルスを3例分離検出しました。
- ・急性扁桃腺炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を5例分離検出しました。
- ・急性扁桃腺炎の患者の咽頭拭い液からA群コクサッキーウイルス2型を1例分離検出しました。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖措置状況

2/15	胆沢町立小山東幼稚園	学年閉鎖	5歳児	2/15	から2/18まで
2/17	江刺市立玉里小学校	学年閉鎖	4学年	2/17(1校時)	から2/18まで
2/17	一関市立山目小学校	学級閉鎖	3学年1学級	2/17(5校時)	から2/18まで

インフルエンザ様疾患により閉鎖措置がとられた施設からの病原体検出状況

- ・1/31 学級閉鎖施設（大船渡小学校）のインフルエンザ患者の咽頭拭い液から、Aソ連型インフルエンザウイルスが2例分離検出されました。
- ・2/1 学級閉鎖施設（千厩小学校）のインフルエンザ患者の咽頭拭い液から、B型インフルエンザウイルスが3例分離検出されました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から以下の情報が寄せられました。

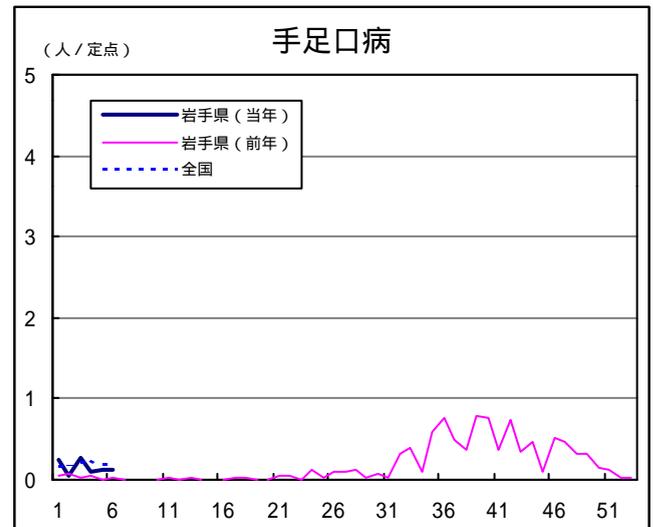
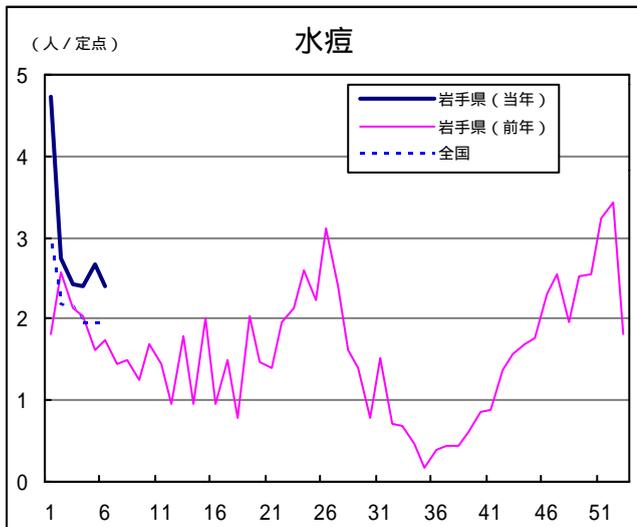
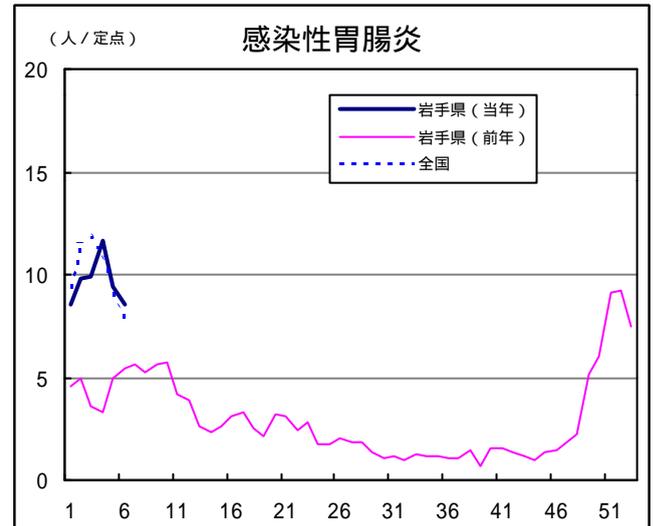
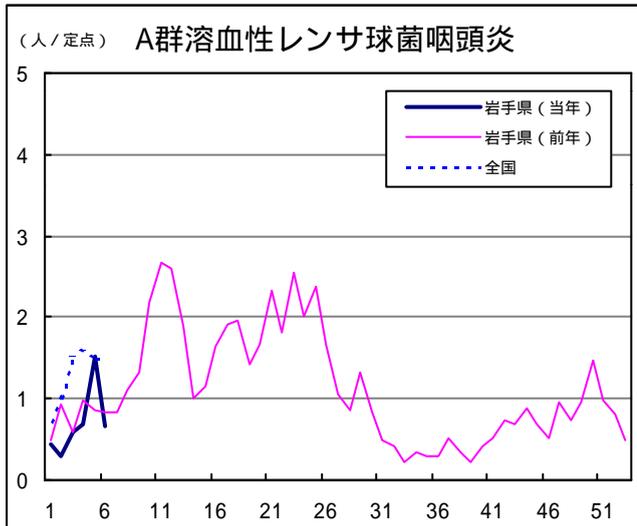
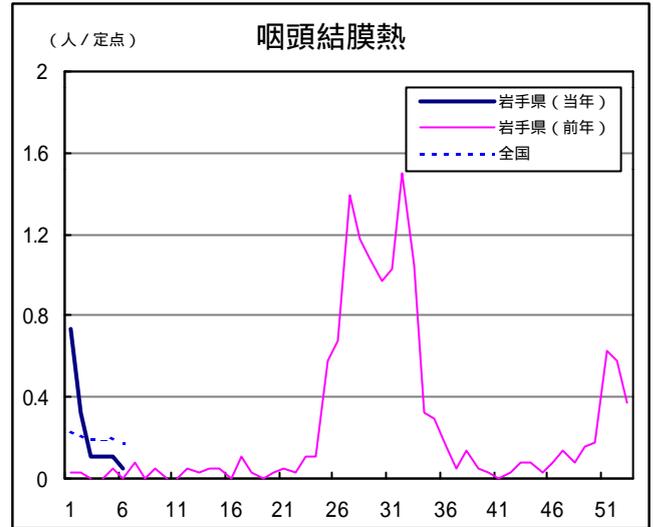
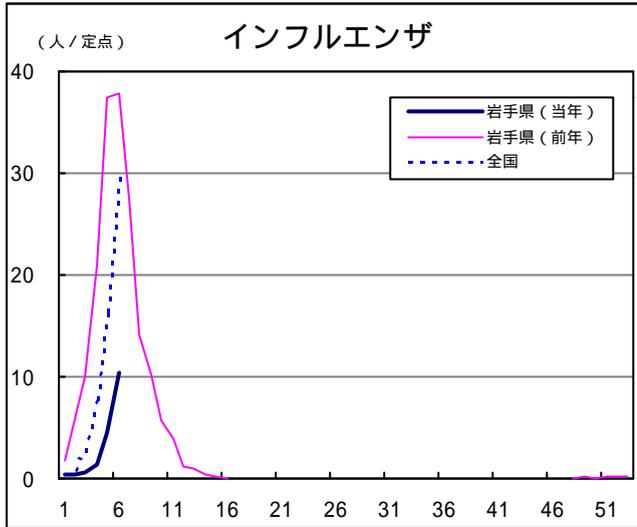
- ・インフルエンザ患者26人中、迅速診断キットでA型が6人、B型が20人であった。
- ・小学校でインフルエンザが流行している。また、小学校の高学年で感染性胃腸炎が流行している。

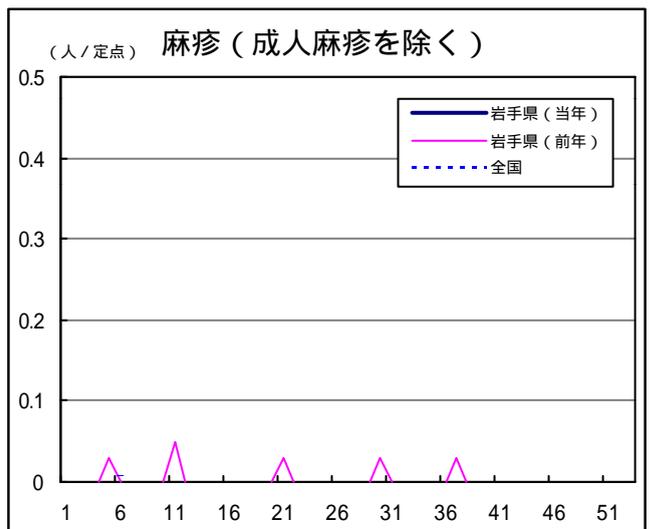
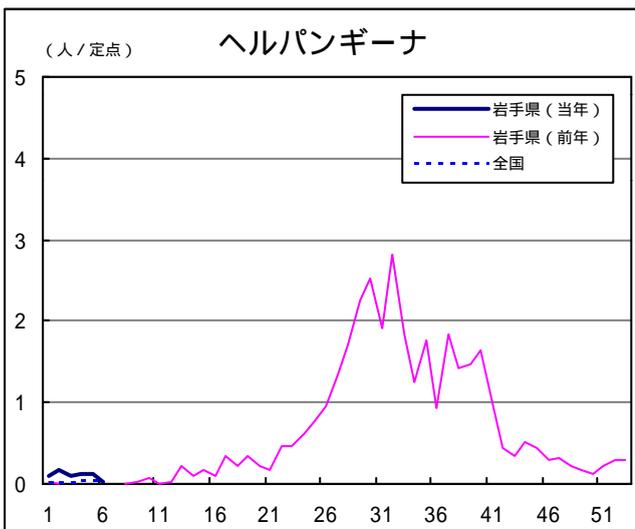
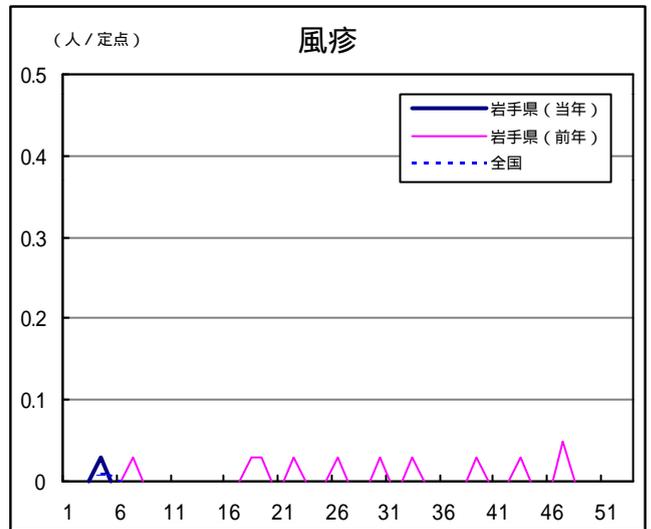
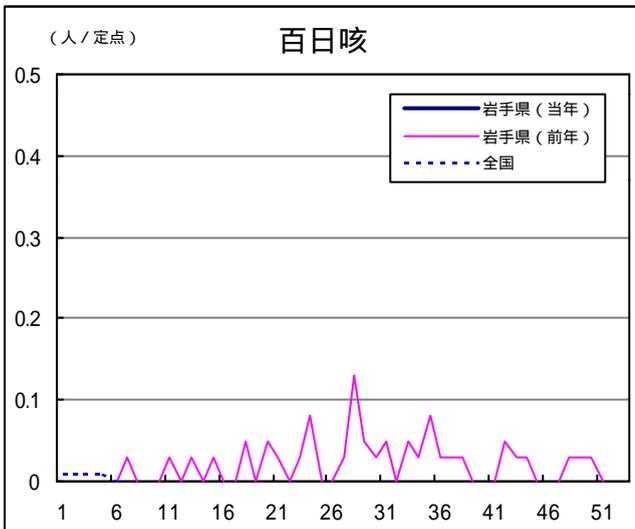
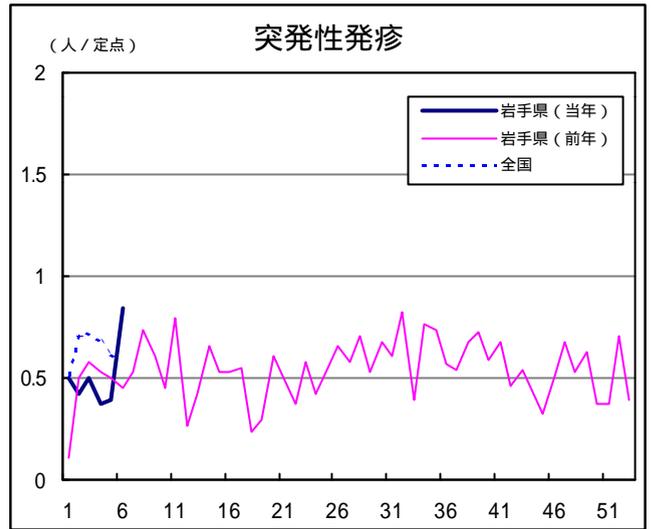
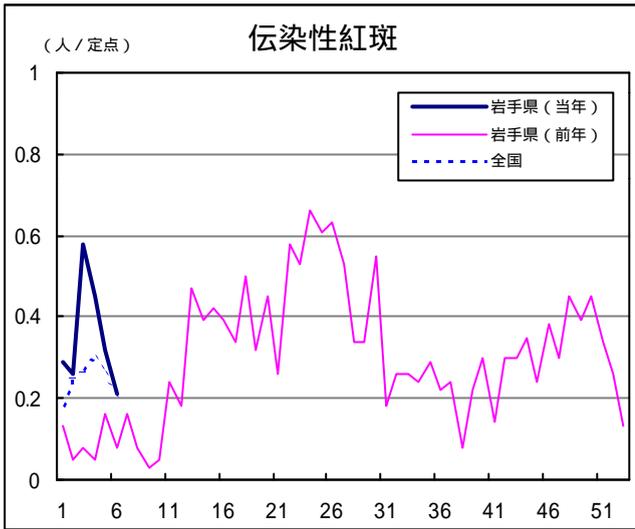
Q & A

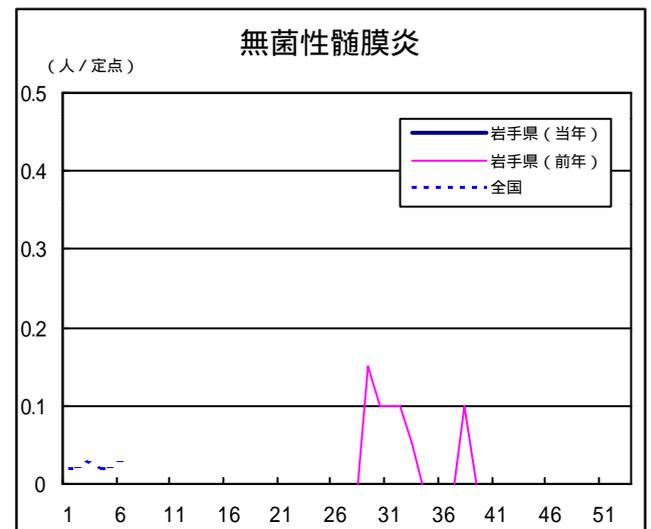
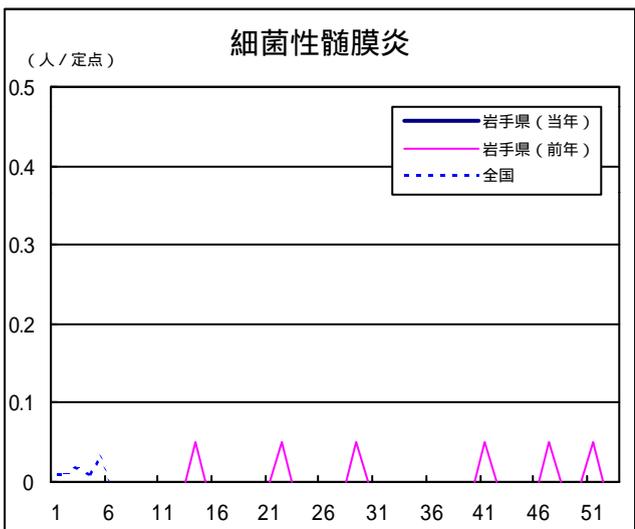
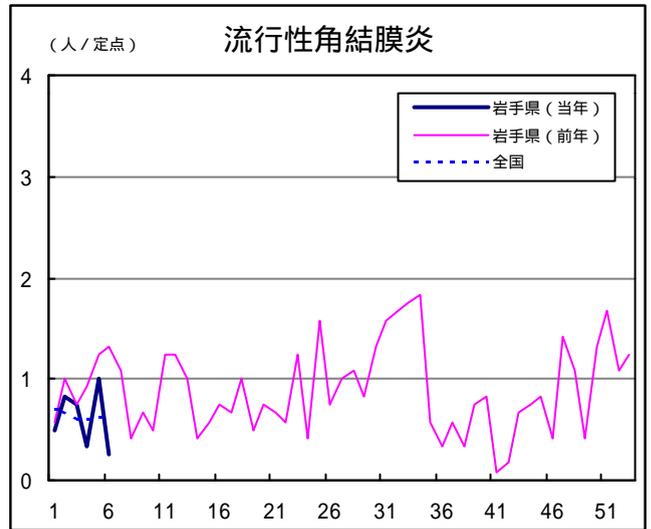
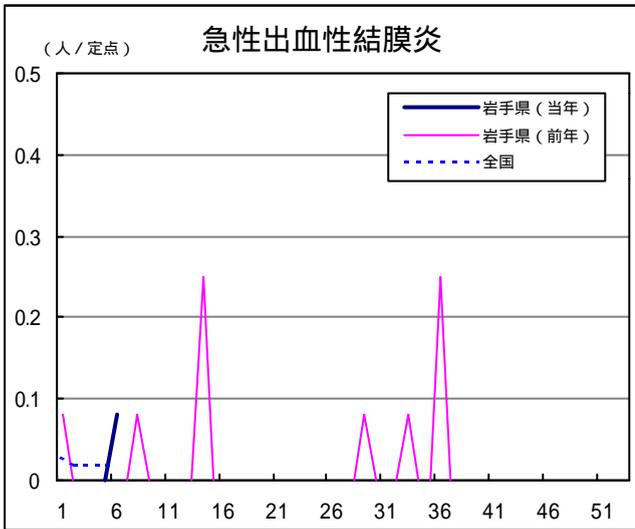
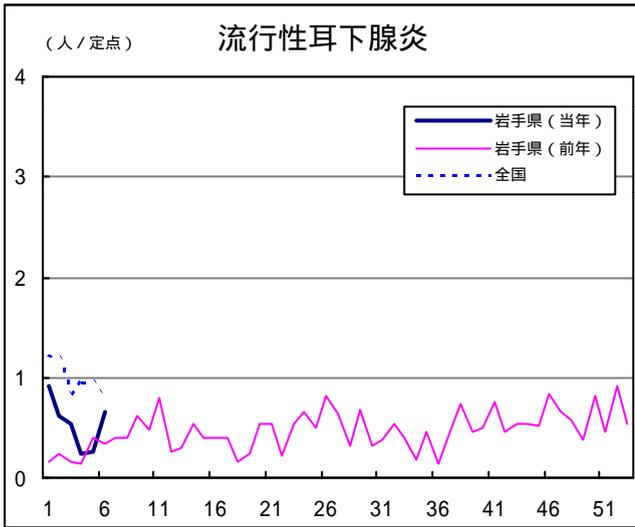
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

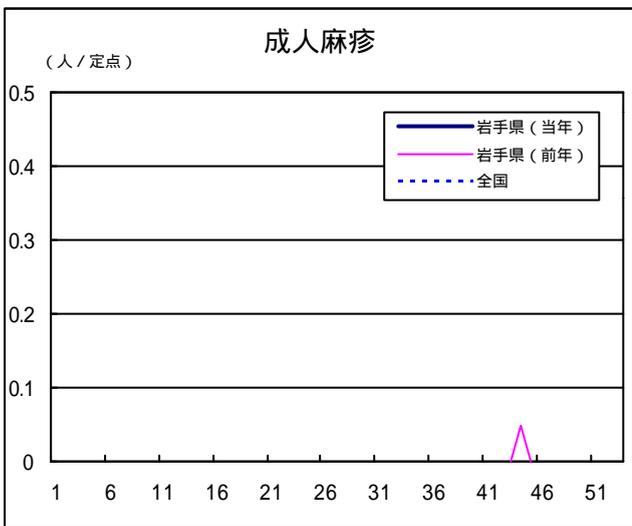
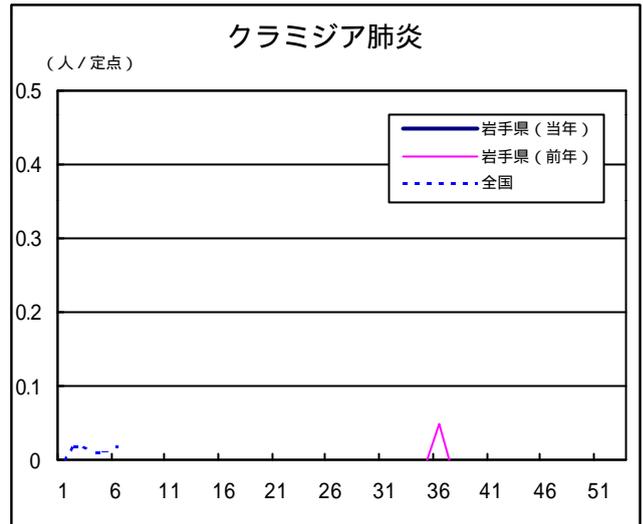
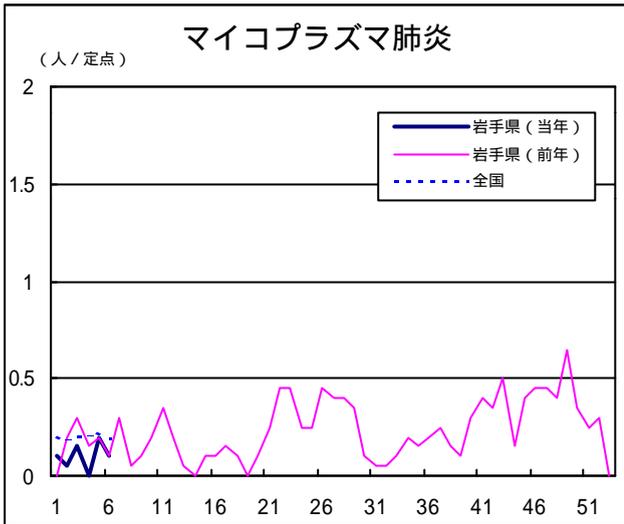
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第6週 平成17年2月18日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>